事務局長談話５

争いごとのない平和な世界を希求する

～ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して～

２月 24 日、ロシアによるウクライナ軍事侵攻発生から１ヵ月が経過した。戦闘が長引くにつれ、軍事施設以外への攻撃により幼い子どもも含め多くの民間人が命を落としている事実に、強い憤りと深い哀しみでいっぱいである。また、命からがら隣国等へ避難する方々の数は 1000 万人にも上っている。

基幹労連として、今回のロシアによるウクライナへの軍事攻撃は決して受け入れられるものではない。また、今回の軍事侵攻がウクライナ国家を破壊し国民の生命まで奪う許すまじ暴挙であることは言うまでもない上に、世界の平和や国際秩序、そして結果的にはロシアをも壊しかねない行為であり、即時撤退を強く求める。

また、産業別労働組合としてウクライナの労働組合や労働者および国民に対する全面的な連帯の意思を表明するとともに、連合や金属労協を通じ積極的な支援を行う。

私たちが安全に健康に生きていく土台は「平和」があってこそだということを、改めて心に刻みたい。

ご安全に

2022 年 3 月 25 日

日本基幹産業労働組合連合会

事務局長　津村　正男

【連合の対応】

○「ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する談話」（2/24 付）発表。

○国際連帯基金より支援金拠出を検討中。

【金属労協の対応】

○インダストリオール日本加盟協議会を通じ、5,000 ユーロ（約 65 万円）の支援を実施。

○金属労協独自の支援について検討中。